

2012 年度 JVCN 連スーダン事業(緊急人道)事業記録写真



村落部での戦闘を避け、州都カドグリ近郊に避難してきた避難民に対する生活用品配布の準備を行う JVC スタッフ



戦闘中に親きょうだいとはぐれ、子ども（だけ）が避難したケースも珍しくない。このような子らは縁者や集落で世話をしてく。





避難民・地元住民共同の畑づくり。乾季の畑には灌漑設備が必要であり、避難民も受け入れ住民も総出で井戸を掘り、各世帯の畑に水を引く用水路を掘った。井戸は「跳ねつるべ」。手前の筒の塊が重しとなって、労力を要せず水を汲みあげることが出来る。



避難民世帯の畑の様子を確認する JVC スタッフ（左）。メイズ、ソルガム、かぼちゃなどが勢いよく伸びている。